

7-3 DX推進特別本部

1. DX推進特別本部の概要

(1) 経緯

令和3年7月「生産性向上推進特別本部」を発展的に改組、DXへの取り組み検討の推進組織とした。

(2) 目的

①建設コンサルタントとして、建設事業におけるDX推進について検討し、受発注者協働による働き方改革や、建設事業の生産性向上、今後の街・地域づくり、会員企業の生産性向上に貢献する。

②活動成果を開示・共有することにより、建設コンサルタントのプレゼンスの向上と会員企業全体のDX推進の底上げを図る。

(3) テーマ

テーマ1:受発注者協働による働き方改革に資するDX推進

テーマ2:i-ConstructionおよびBIM/CIMの推進(ライフサイクルマネジメントの生産性向上)

テーマ3:街・地域づくりのDX推進(エリアマネジメントに資するDX)

テーマ4:建設コンサルタント企業のDX推進

2. 主な活動の記録

(1) 受発注者協働による働き方改革に資するDX推進

- ・入札・契約段階、業務遂行段階、納品段階の電子化により効率化を図る「あるべき姿」を検討
- ・入札・契約段階、納品段階での作業・書類の完全電子化に向けて、電子入札システム、電子契約システムの機能追加、機能改善、運用改善を提案
- ・業務遂行段階における業務遂行段階における電子活用に向けて、ASPの活用促進策として特記仕様書へのASP活用の明記、ASPの活用する機能、格納データ・書式などの運用ルールを設定を提案

(2) i-ConstructionおよびBIM/CIMの推進

- ・プロセス間でデジタル情報のサプライチェーンの構築を図る「あるべき姿」を検討
- ・デジタル情報のサプライチェーンの構築として、調査・

設計・積算・工事・維持管理において、データ連携が適切にできる3Dソフトの開発目標の明確化、3Dモデルの照査機能の開発、データプラットフォームのデータを活用するためのインターフェース(API)の開発のあり方の検討の必要性を提案

- ・デジタル情報のサプライチェーンの運用として、BIM/CIMモデルを管理・継承するマネジメント体制・役割(CIMマネージャー)の検討の必要性を提案
- ・国土交通省BIM/CIM推進委員会、東京大学工学研究科i-Constructionシステム学寄付講座協調領域検討会への参画

(3) 街・地域づくりのDX推進

- ・スマートシティやスマートシティなどの取り組みを参考に、防災、観光、物流、エネルギー等の街・地域づくり関連分野におけるDX推進やデータ利活用のあるべき姿を設定するために、街・地域づくりに貢献できるDX技術の整理、海外先進事例および国内事例の整理を実施

(4) 建設コンサルタント企業のDX推進

- ・会員企業全体のDX推進の底上げを図る「あるべき姿」を検討
- ・会員企業全体のDX推進として、業務プロセスの改革におけるDX技術の共有・活用を検討
- ・協会本部におけるDX推進として、会員企業の経営に役立つ情報の提供、協会本部及び会員企業間、委員会活動における情報交換の仕組みの構築を検討
- ・会員企業間の連携の仕組みの構築を検討

2. 次年度の活動

- ・テーマ1、テーマ2について、地方ブロック意見交換会「要望と提案」に反映するとともに、国土交通省本省との協議を推進する。
- ・テーマ3について、DX推進やデータ利活用のあるべき姿を設定するとともに、未来予測に基づくコンサルタントとしての役割や提供するアイデアや技術を検討する。
- ・テーマ4について、会員企業全体のDX推進に資する情報提供、協会本部におけるDX推進の具体化を推進する。

(DX推進特別本部本部長 野崎 秀則)